

いのはな便り

肺がん CT 検診認定機構メールマガジン
第 14 号 (2015 年 5 月号)

第 109 回 日本医学物理学会総会 肺がん死亡率減少に医学物理学はどのように貢献できるのか -CT 検診の米国公的保健適応決定を期に- の報告

広島大学大学院 放射線診断学
栗井和夫

2015 年 4 月 19 日に横浜市で開かれた日本医学物理学会総会において、低線量 CT 検診をテーマとしたシンポジウムが開催されたので報告をいたします。

このシンポジウムでは、私の他、日立総合病院内科の名和 健先生、岐阜大学工学部の藤田広志先生、新潟大学大学院医歯学総合研究科の和田真一先生、がそれぞれの立場から低線量CT検診について講演を行いました。

まず、栗井が、広島県における肺がんCT検診に関するアンケート調査結果および広島県三次市で始まったCT検診の新たな試みについて報告しました。アンケート調査では、回答のあった18施設のうち「肺がんCT検診認定機構」の認定を有する医師および診療放射線技師が在籍する施設は、それぞれ4施設、7施設であり、広島県においては認定施設制度がまだまだ根付いていないことが伺われました。また、その他の問題としては、低線量で撮影されていない(3-8 mSv)、二重読影を実施していない、検診対象者が明確でない、施設により精検率に差が大きくさらに精検受診者が少ない等の事項が指摘され、これらは認定施設制度の普及とともに解決していかなければならない問題と考えられました。

次に名和先生からは、日立市におけるCT検診の実績が述べられました。日立市では、CT検診の導入前は市民の肺がんの標準化死亡比は全国平均と同等であったのが、CT検診導入後4-8年で0.76まで減少したと報告されました。また、リスク別に適切な受診間隔を設定すること、低線量化の徹底、要精検率の低減、経過観察ガイドラインの確立と順守などが今後の問題点として指摘されました。

藤田先生からは、コンピュータ支援診断の開発の立場から、開発の歴史、システム開発や商用化の現状などが報告されました。藤田先生のご講演を聞いて、大量の被験者のデータを読影しなければならぬ CT 検診ではコンピュータ支援診断は不可欠であり、現在、実用に耐えるシステムも登場しているので、今後はそれをどのように現場に適応させるかが問題であると感じました。

和田先生からは、CT 検診のプロトコールの最適化の重要性、診断支援システムの実装に関する問題点等が指摘されました。

最後に、医学物理学会の名誉会員であられる飯沼武先生および松本徹先生から、CT 検診を発案にいたった経緯と、今後の CT 検診への期待等が述べられました。お二人の発言は CT 検診の黎明期から携わって来られただけに重みがありました。

本シンポジウムに参加して感じたことは、医師、診療放射線技師のみではなく、医学物理、画像工学、疫学等の専門家等、様々な領域の専門家の知恵を結集して、より良い肺がんCT 検診のシステムを構築しなければならないということでした。このような、各領域の専門家が、CT 検診について議論するような場が今後もあればと感じました。

本機構主催の講習会などのお知らせ

◆第14回 肺がんCT 検診認定技師 定期講習会

- ・日時：2015年7月18日（土曜）7月19日（日曜）
- ・場所：滋賀医科大学

詳細はHPでご確認ください。

<http://www.ct-kensin-nintei.jp/gishi/workshop/index.html>

◆第7回 肺がんCT 検診認定技師 更新講習会

- ・日時：2015年7月18日（土曜）
- ・場所：滋賀医科大学

詳細はHPでご確認ください。

<http://www.ct-kensin-nintei.jp/gishi/koushin/kousyukai/index.html>

◆第9回 認定医師更新講習会 兼 認定医師新規認定講習会

- ・日時：2015年8月30日（日曜）
- ・場所：秋葉原（東京都） 富士ソフト アキバプラザ 5階 アキバホール

詳細はHPでご確認ください。

<http://www.ct-kensin-nintei.jp/ishi/workshop/index.html>

※お申込みは6/15(月)より開始いたします。

関連会議のご案内

第41回肺癌診断会のお知らせ

1. テーマ : マクロの視点とミクロの眼
2. 世話人 : 黒崎敦子（公益財団法人結核予防会 複十字病院放射線診断科）
3. 日時 : 平成27年6月25日（木）～27日（土）
4. 会場 : りんどう湖ロイヤルホテル

〒325-0302 栃木県那須郡那須町高久丙 4449-2

5. 申込方法 : 下記のウェブサイトからの事前参加登録受付中
<http://lcd.kenkyuukai.jp/>
6. 問合せ先 : ① 第41回肺癌診断会運営事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷3-35-3 本郷UCビル4F
株式会社コンベンションアカデミア内
TEL:03-5805-5261 E-mail: LCD41@coac.co.jp
- ② 実行委員長 複十字病院放射線技術科 花井耕造
TEL:042-491-4111 E-mail: hanaik@fukujuji.org

※第41回肺癌診断会への参加は肺がんCT検診認定技師更新講習会受講の5単位となります。

※内容についてはHPでご確認ください。

日本CT検診学会 2015年夏季セミナー

第19回読影セミナー、第14回肺気腫セミナー、第9回技術セミナー

当機構の中心母体である日本CT検診学会が主催する夏季セミナーです。
認定医師、認定技師の更新のための単位も取得できますのでぜひご参加ください。
また、未入会のかたも是非この際にご入会をお勧めします。

1. 日時: 2015年7月25日
2. 会場: 主婦会館プラザエフ
<http://plaza-f.or.jp/index2/access/>
3. 代表世話人: 柿沼龍太郎
4. 詳細については下記HPでご確認ください。
http://www.jscts.org/index.php?page=seminar_index

第18回肺がん画像診断セミナー in DAIBA

1. 日時: 2015年9月20日 10時～ 2015年9月21日 13時
2. 場所: ホテルグランパシフィック LE DAIBA (東京、お台場)
3. 世話人: 山田耕三 (神奈川県立がんセンター)
4. 内容: プログラムはこちらをご覧ください。
<http://odaiba-haiganseniner.kenkyuukai.jp/special/?id=10352>

本機構の副代表理事の江口研二先生が責任者を務める、肺がん画像診断の勉強会です。

少人数に分かれて、エキスパートと膝を突き合わせて議論ができる数少ない場所ですので、奮ってご参加ください。

現在HPから参加受付中です。

編集後記：

初夏を乗り越して真夏のような日差しが続いておりますが、皆様方のほうはいかがでしょう。

地震や各地の火山の動きも活発なようで、人間の感覚では東日本大震災からだいぶ経ったようにも感じますが、地球の歴史から見ればまだ一瞬の出来事なのかもしれません。しばらくは地下の動きにも目が離せないようです。

今回は広島の栗井教授に先日横浜でありました学会での報告をしていただきました。栗井先生の報告にもありますように、まだ本機構の認定制度の認知度は高くないようです。一日も早く、全国どこでも認定技師、認定医師による撮影や読影ができるようにしたいものです。(文責：金子昌弘)

いのはな便り 第14号 2015年5月29日発行
〒260-0856 千葉市中央区亥鼻3-6-6 イノハナビル3階
有限会社エッセン内 「肺がんCT検診認定機構事務局」
編集責任者 金子昌弘
TEL：043-226-1298
FAX：043-226-1299
E-mail: jimdai@ct-kensin-nintei.jp
WEBSITE: <http://www.ct-kensin-nintei.jp/>